

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 8 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小規模スタッフ 9 名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

8

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	4	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	2	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用開始前には、本人、家族との信頼関係に繋がる共感的理解に努め、どのような関りが必要か検討した。本人、家族の意向や思いに添うよう、事業所で行なえる支援について相談した。フェイスシートや介護支援専門員からの情報を元に、支援内容や所内での過ごし方を検討し、職員間で情報共有を図った。</p> <p>利用者によっては、訪問から利用を開始し、職員の顔合わせと会話を重ねていく事で安心できる関係作りに繋がるよう配慮した。本人、家族の意向を確認しながら、無理なく徐々に利用の幅を広げる事も行った。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 8日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小規模スタッフ 9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	6	0	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	0	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	0	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	5	0	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人、家族との関りを深め、会話、行動、表情やしぐさなどにも注目して観察し、思っていること、体調、生活状況等、把握に努めた。知り得た情報は、ミーティングや会議、その都度職員間で周知を図り、関り方や今後必要となる支援について検討した。本人、家族に確認しながら、実践、評価を繰り返し、双方の思いに寄り添った支援に繋がるよう配慮した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 6日

3. 日常生活の支援

メンバー 小規模スタッフ9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	4	3	0	9

前回の改善計画	本人や家族と積極的に関わりを持ち、何気ない言葉や行動からも情報を汲み取り、以前の暮らし方をより多く把握出来るよう努める。担当が中心となり、ミーティング等で共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」10個以上の把握は難しい方もいたが、本人の言動や行動、表情やしぐさなどにも注目して観察し、どのような関りが本人にとって良いものかをその都度検討した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	3	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	3	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	3	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	4	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
担当が中心となり、支援内容の確認の他、現在の生活状況や体調、本人がどのようなことを考えているか、何気ない言葉や行動などからも汲み取り、情報を整理してミーティングや会議で周知を図った。介護支援専門員が中心となり、本人、家族と相談支援を行い、双方の気持ちを汲み取った支援に繋げるよう検討した。また、職員間で本人の状況に合わせた統一した支援が出来ているか、ミーティングや会議の場で確認した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族の事情、本人の認知症の進行等により、「本人の以前の暮らし方」10個以上把握が難しい方もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
フェイスシートを再確認し、本人を尊重した視点で積極的にコミュニケーションを図るよう心掛け、理解を深めていく。知り得た情報は、その都度ミーティングで報告する。また、職員がその都度確認できるよう、ミーティングの際に用いる引き継ぎノートに記載する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月8日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小規模スタッフ9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	5	2	0	9

前回の改善計画
本人との関りを深め、何気ない言葉にも耳を傾け生活状況の把握に努める。担当が中心となり、ミーティングや会議等で情報共有に努める。 各地区の民生委員や本人にとって関わりが深い方の情報を把握できるよう、緊急時対応シートやケースファイルなどに掲載し整理する。情報を確認できる資料について、周知を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
各利用者の緊急時対応シートや薬の処方等、情報を書類にまとめ、個人ファイルに整理した。情報を確認できるファイルとして職員間で周知を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	0	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	0	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	2	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	8	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の生活観や価値観、家庭事情について、本人、家族、地域包括等から情報提供を受け、ミーティングや会議等で、情報共有し、理解を深めた。 本人と、家族、地域との関係性を理解し、出来る範囲で関わって頂ける事を相談したり、事業所で出来る支援について共に考えている。 各地区の民生委員、生活していく上で必要となる地域資源等の情報を書類にまとめ、個人ファイルの整理を行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居の方等、利用時の聞き取りだけでは生活の把握が難しい方もいるが、地区民生委員や馴染みのある地域住民より、出来る範囲で生活の見守りやゴミ出し等の支援をお願いしたり、変わりあれば連絡頂いたり連携を図った。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
各利用者、どのような支援が必要か確認し、地域民生委員や地域住民より、関わって頂ける生活支援について相談していく。無理な相談にならないよう、理解を頂きながら、出来る範囲での支援をお願いしていく。また、生活状況に応じて訪問を検討したり、電話連絡にて状況確認を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月8日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小規模スタッフ9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	0	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	2	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	3	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	5	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人にとって必要となる地域資源について周知に努めている。本人らしく生活できるよう、地域資源の活用を支援した。</p> <p>独居の方等は、地区民生委員や地域住民より、ゴミ出しや見守り等の生活上必要となる支援の協力を頂きながら暮らしをサポートした。また、その日の体調に合わせて利用を検討し、体調不良等あれば本人の了承を頂きながら宿泊利用に変更したり、家族の理解も得た上で柔軟に対応出来ている。</p> <p>朝、昼、夕、夜間等、複数回のミーティング、また必要時にはその都度ミーティングを実施し、利用者の体調、利用状況、生活状況等、情報共有に努めた。何か変化があれば、多職種と連携して対応を検討し、次の支援に繋いだ。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 8日

6. 連携・協働

メンバー 小規模スタッフ9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	6	1	9

前回の改善計画
今後の新型コロナウイルス感染症状況もはっきりと予測できない。安全な状況を見極め、地域活動やイベントへの参加については、慎重に検討し、出来る範囲で行っていく。 介護支援専門員が中心となり、他のサービス機関、自治体、地域包括支援センターとの会議や連携が図られているか、会議やミーティングの場で報告し共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
新型コロナウイルス感染症の感染状況落ち着かない状況であった。昨年同様に事業所と同地域には連絡を取り、花壇の水やりに参加する事継続しており、事業所周辺のゴミ拾いも実施した。 介護支援専門員が参加している地域ケア会議などの具体的な内容は、職員全体には周知できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	8	0	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	8	0	0	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	6	3	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	6	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	医療機関や福祉用具事業所等、他関係機関との連携を図り、利用者支援に繋げている。 介護支援専門員が、地域ケア会議やケアマネ連絡会に参加し、解決困難となる議題について話し合い、各機関との連携を深めた。その他、本人、家族支援が難しいケースの場合、個別地域ケア会議で、地域包括、行政との協議を行っている。 地区で管理しているプランターの水掛けをしたり、地域住民の活動に参加し、地域住民の散歩コースにもなっている事業所周辺のゴミ拾いを複数回行った。 事業所は、外部の方の出入りを制限させて頂いていたが、子供を含む地域ボランティアの方々の来所より、3年ぶりに建物周辺に限り、清掃活動を受け入れることができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	新型コロナウイルス感染症対策のため、総合防災訓練等、参加協力を頂く予定だった活動も事業所のみ活動とした。地域の活動やイベントは規模縮小となり、当事業所の感染状況により参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	新型コロナウイルス感染症の終息時期が予測できない状況であるが、各機関や地域の方々の理解と協力を頂きながら、少しでも地域住民と関わることのできる取り組みを検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 8日

7. 運営

メンバー 小規模スタッフ9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	4	0	9

前回の改善計画	<p>運営会議の報告は、職員一人一人に口頭でしっかり伝達する。会議資料にも目を通してもらい、確認印を押すこととする。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が収束する状況となった際に、以前の活動を速やかに再開できるよう備える。現在の状況が続いても、地域との関りについて、出来る事を見つけていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>特有の勤務体制や新型コロナウイルス感染症状況により、職員の勤務調整や会議も書面会議となり事があった。書面を確認してもらっているが、対面での伝達ではない為、伝わりづらいところもあった。確認印実施も月によってはバラつきがあり、課題となっている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	3	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	0	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	5	0	9

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>利用者、家族、また、運営推進会議で頂いた意見を元に、ミーティングで改善に向けた話し合いを行い、改善に向けた取り組みが出来た。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、地域との連動した積極的な取り組みは自粛する形となっているが、出来る範囲で、自治体や地域包括、地域の機関との連携を図り、高齢者情報の共有や利用相談、防災や交通等の協力体制を呼び掛けている。</p>
--------	--

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>会議の場等で、より良い支援についての提案等、積極的に発言出来なかった、という個人評価があった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、地域との協働した取り組みは自粛する形となり、積極的な活動は実施できなかった。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>全職員の業務目標を設定する。小規模会議等の資料作りの際、各利用者担当より引き継ぎ事項や意見を記載してもらおう。また、全職員が業務全般に関わるよう役割を分担し、業務内容や利用者の生活状況等の理解を深めていく。</p> <p>地域と協働した取り組みは、新型コロナウイルス感染症対策のため、自粛されることが多かった。今後、事業所の活動や特色を知って頂くために、ホームページの充実を図っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 8日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小規模スタッフ9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	5	4	0	9

前回の改善計画	職員全体でスキルアップを図っていくために、勉強会や研修で学んだことを積極的に伝達してく。また、会議資料にも目を通してもらえるよう呼び掛けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルス感染症対策により、勉強会や研修の発表会など自主となり、書面を回覧し伝達する事が多く、伝わりにくいところもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	1	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	2	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	4	1	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>事業計画に基づいたリモート研修含む外部研修、委員会等による内部研修を実施、参加した。介護支援専門員が、地域ケア会議やケアマネ連絡会に参加している。事故やヒヤリハットに対して、原因の究明と対策を検討した。リスクマネジメント・身体拘束委員会では振り返りを行い、その後の評価の確認や意見交換を行った。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員によって、研修参加にバラつきがあった。</p> <p>地域連絡会の参集は、介護支援専門員のみであり、介護職員はどのような活動なのか理解が不十分であるため、出来ていない、の評価があった。</p> <p>リスクマネジメントについて、ミーティングで毎日のリスクを確認し、事故やヒヤリハットがあれば、原因の究明と対策を検討しているが、ヒヤリハットの報告が少ない傾向があり、危機管理に対する意識が充分ではないことも考えられる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事業計画に基づいて、今後も研修を計画していくが、全職員が対象となる、勉強会や内部研修を積極的に実施していく。また、感染症の状況により書面開催とした場合、早めの確認を呼びかける。</p> <p>地域連絡会に関しては、参加していない介護職員にどのような活動か、書面の回覧と確認を呼び掛け、会議内容を理解してもらう。</p> <p>リスクマネジメントに関しては、普段の何気ない事でも、危険に繋がるような事があれば、積極的にヒヤリハットを挙げて情報を共有し、日頃の危機管理に対する意識の向上を図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 8日

9. 人権・プライバシー

メンバー 小規模スタッフ 9名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない (現在、小規模に身体拘束の対象者はいない)	5	4	0	0	9
②	虐待は行われていない (虐待は違法であり、いかなる虐待も行われていない)	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	5	4	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している (現在、成年後見制度を活用している方はいない)	2	1	6	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	6	0	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束は現状行われておらず、虐待が疑われるような報告もない。
個人情報は第三者の目に触れないよう鍵付きのキャビネットに保管している。また、利用者、職員間の会話でも、個人情報を配慮なく口にしないよう、ミーティングやその都度職員間で注意を呼び掛けている。
写真等を広報誌やホームページに記載する際は、本人及び家族に確認を取り了承を得ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度については、該当する方もなく活用していないため、できていない、の評価があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
該当する方がいれば速やかに対応できるよう、成年後見制度の理解に努めていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人舟和会	代表者	庄司 正宏	法人・事業所の特徴	小規模多機能型居宅介護事業所は、利用者が可能な限り住み慣れた地域で居宅生活を継続できるよう、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」を中心として「泊り」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境のもと日常生活上の支援や機能訓練を行います。利用者がこれまでの地域とのつながりを保つことができる環境作りを目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ほなみ	管理者	田中 のぞみ		

出席者(書面)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	2人	1人	2人	1人	0人	4人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎや会議等で、利用者様一人一人の生活状況と健康状態の確認、ケアの見直し等を行い、今後も職員間で情報共有を図りながら統一したケアを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議やミーティングでは、利用者様の生活状況、ケアについての情報共有に努めることができた。介護支援専門員や役職者が中心となり、皆でその都度検討し、ケアの見直しを実施出来た。また、評価をしながら次の支援に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価については、職員相互の意思疎通が図られているように感じられる。 改善するべきところをよく理解し、改善計画も分かりやすく立てられていると思う。 新型コロナウイルス感染症陽性者が発生する中、さらなる感染拡大を防止できたのは、職員の努力によるものと評価したい。職員の情報共有、連携が上手く図られていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議やミーティングにて、利用者様の体調や生活状況について情報共有を図り、理解を深めてより良いケアに繋げていく。 自己評価の改善計画について周知し、職員全体で統一した取り組みを行なう。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の生活用品や設備等、不具合はないか定期的な点検を行い、利用者の生活に支障のないよう努める。 感染症対策を徹底し、清潔な環境づくりに努めていく。また、家族との連絡を密にし、その取り組みを把握してもらい、安心に繋がるように努める。 月毎に、行事担当職員が作品展や壁面の装飾を行い、事業所の中でも季節を感じて頂け 	<ul style="list-style-type: none"> 開所から13年目を迎え、老朽化した特殊浴槽等、事業所の老朽化に伴い、業者と相談しながら、設備器具の更新を行った。 パート職員、シルバー人材等の雇用もあり、連携しながら事業所内外の環境整備に努めることが出来た。 新型コロナウイルス感染症が流行する中、看護師や委員会が中心となり、勉強会や研修を実施しながら対策について周知を図ってい 	<ul style="list-style-type: none"> 暖かみのある家庭的な環境であると感じている。周囲からも雰囲気は良いと聞いている。 昨年に比べてヒヤリハットが少ないように思う。ヒヤリハットは、事故を未然に防ぐ為にある事を理解してほしい。入力内容や提出方法について検討は必要ないか確認してほしい。「気掛かり」とも思える内容であれば、積極的に報告してほしい。 来所者にはインターホンでの対 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所特有の暖かみのある家庭的な雰囲気を活かし、清潔で過ごしやすい環境づくりに努める。 その都度ミーティングで感染症対策についての確認と徹底を図り、利用者様、家族様の安心安全に繋げていく。また、感染状況に応じて感染症対策の緩和を検討し、柔軟な利用相談を提供する。 安全管理委員会を中心に、その都度設備等の確認を行い、不具合があれば、設備器具等の更新を検討

	<p>るような雰囲気づくりを行う。</p>	<p>る。ゾーニングやガウンテクニック等の感染症対策についても、勉強会を実施して周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月毎に行事担当職員が、事業所内に季節を感じられる装飾を利用者様と一緒にすることができた。 	<p>応をされているが、待たせてしまう等の不便をかけないように注意して欲しい。</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント・身体拘束検討委員が中心に、ヒヤリハットの重要性について周知を図る。ヒヤリハットを積極的に取り上げ、その都度検討する等、リスクマネジメントの活動を充実させ、安心して過ごせる環境作りに努める。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの連携を図り、相談事業に積極的に関わる。 ・イベントや行事など機会があれば参加させて頂き、地域との結びつきを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括や地域住民より、新規利用に関する情報を頂き、利用相談に繋げている。 ・感染症対策の理解を頂きながら地域のボランティアの方々より事業所の網戸掃除など協力頂いたり交流を図る事ができた。事業所近辺にある地区の所有する花壇の水やり、地域周辺のゴミ拾いを行った。出来る範囲であるが、地域との関わりを持つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所についての情報は、利用者家族や関係職員は周知していると思われるが、それ以外は少ないように感じる。 ・新型コロナウイルス感染症対策の為、地域との関りが制限されるのはやむを得ないと思う。感染症対策の緩和等、世の中の流れも変わりつつある。中止となっていた地域行事やイベントも、これから開催する事が増えてくると思うので、機会を見ながら参加し地域交流を図って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括や地域住民から利用相談や地域行事等の情報提供を頂けるよう、連携、交流を深める。 ・事業所の環境や活動を理解して頂けるよう、広報やホームページの充実を図る。 ・感染症対策に配慮し、地域との関わり場を検討する。機会を見ながら地域交流を図り、地域との結びつきを深めていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族と、積極的に情報交換を行い、地域とどのような関わりを持ちたいのか理解できるように努め、出来る範囲で、希望に沿った支援を行う。 ・地域包括支援センターとの連携を図り、各地域で心配される方の情報を共有し、必要時は相談事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、本人と、必要な支援について相談し、必要時は地域に出向いて買い物代行、付き添い支援、通院支援等を行い、地域での暮らしを支援した。 ・地域住民、地域団体の方を交えた運営推進会議を開催している。また、地域の方に利用者の支援について相談をしたり、暮らしを支える取組みを行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策の為、地域の行事やイベントに参加できなかった。事業所周辺を散歩したり、ドライブ外出や事業所の畑の水やりを職員と一緒にしたり、機会は多くなかったが、地域を感じられるような活動を行っ 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援や通院支援等、地域を活用した必要な支援を行なっている。 ・送迎時等に、ご近所の方など見かけた際は、声掛けや情報交換を行なっていたと思う。 ・どのように関わったかまでは把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策と、家族、本人の意向に配慮しながら、外出できる機会を作り、地域や季節を感じられるような取り組みを実施する。 ・地域団体、地域住民との関わりを深め、地域イベントや行事についての情報提供を頂き、感染症対策に配慮しながら利用者の参加を検討する。 ・利用者以外の近所の方にも、積極的な挨拶、機会があれば会話するように努め、相談事業や地域交流に繋げる。

		た。		
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括センターとの連携を図り、情報提供を受けた事や知り得た情報を元に支援した状況を報告する。 ・事業所での確認事項、活動内容、リクスマネジメントについて、推進委員の皆様にも、要点をまとめて分かりやすくお伝えできるように努め、意見交換の場を有効活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は、感染症対策により、書面開催となる事があった。開催機会が少ない中で、事業所より意見を頂きたい議題を上げて運営推進委員との意見交換の場を作った。運営推進委員の考えや疑問を理解し、改善に繋げていく取り組みに活かした。 ・防災活動等、事業所の活動について、書面では伝わりにくいところもあり、資料内容の工夫が必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議について。1時間という会議時間では、事業所の取り組みを「分かりやすく」報告するのは難しいと感じる。 ・事業報告の他、事業所の取り組みも含めた分かりやすい運営推進会議議事録に工夫できれば良いと思う。 ・地域の心配な方等の事例検討については、個人情報との関係もあり、今までは少なかったように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議が充実したものとなるよう、利用状況等、要点を付いた分かりやすい内容で報告できるように努める。 ・防災活動等、重要な事業所の活動は資料として添付し、運営推進委員の方に理解してもらえようようにしていく。 ・運営推進会議で出た意見は、事業所内で周知、検討し、改善に繋げる。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、安全管理委員会を中心に防災・災害対策活動を実施していく。その内容や結果を職員全体に周知できるように取り組み、職員全体で防災・災害対策に対する意識と知識の向上を図っていく。 ・ほなみでの防災活動・災害対策について、地域の機関(役場、広域、町内会など)に理解して頂けるよう情報提供し、また町内会や各機関に声を掛け、地域の防災活動があれば参加させて頂き、地域との結びつきを深めながら協力体制を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三施設合同防災訓練を実施し、各施設間の連携を確認した。 ・定期的な防災訓練や防災器具点検等、事業計画に基づき活動を実施した。災害時の対応力や防災設備取扱い等、職員の経験年数等によっては知識に偏りがあると思われる。 ・感染症対策により、地域の方を交えた防災活動は実施できなかった。消防団に所属する職員は各地区の防災活動に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については、新型コロナウイルス感染症対策の為、参加できていないと思われる。コロナ禍の中、やむを得ない事と思うが、災害危険区域に指定されている事もあり、防災訓練等、内部でしっかり行い、いざという時の為に備えて欲しい。 ・事業所の防災対策を周知するためにも、運営推進委員や地域住民の定期的な参加を検討して欲しい。 ・事業所の災害時を想定し、地元住民がどのように関わればよいのかははっきりと分からないところもあると思う。いざという時の為に、連携の内容を検討されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき防災管理活動に取り組む。安全管理委員会を中心に活動内容や防災管理についての周知を図り、職員全体で防災危機管理に対する知識向上と意識掛けを深めていく。 ・感染症対策の状況に応じて地域の方の参加を検討し、地域との連携、活動の周知に繋げる。

